

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

医療技術部放射線部門

研究責任者： 小原 秀樹

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 前立腺癌強度変調放射線治療における腸管進入を考慮した腸管 PRV 設定の妥当性と daily CBCT に基づく適応的再計画基準に関する観察研究

研究の目的

前立腺癌に対する強度変調放射線治療では、前立腺の近くに小腸や大腸などの腸管が位置することがあります。その場合、治療中に腸管の位置が変化しても、腸管に必要以上の放射線が当たらないように治療計画を作成します。しかし、腸管への放射線を減らすことを優先すると、前立腺への放射線の当たり方や、治療計画全体のバランスに影響する可能性があります。

本研究では、治療計画時に撮影した CT 画像、実際の治療計画、および治療時に撮影した CBCT 画像を用いて、腸管の位置が治療期間中にどの程度変化するかを調べます。また、腸管を保護するための治療計画が、前立腺や周囲の臓器への放射線量に及ぼす影響を評価します。さらに、治療計画の変更が必要となる患者さんを、CBCT 画像に基づいて判断する方法について検討します。

本研究の目的は、前立腺に必要な放射線量を確保しながら、腸管に多くの放射線が当たるリスクを低減するための、より適切な治療計画および判断方法を明らかにすることです。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2033 年 3 月 31 日

対象となる方 2024 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までに当院放射線治療科を受診し、前立腺癌に対する根治的 IMRT を受けた患者さんとして。

利用させていただきたい試料・情報について

当院の診療録および放射線治療システムに記録または保存されている以下の情報を利用します。

患者さんの年齢、身長、体重などの背景情報、前立腺癌の病期およびリスク分類、治療前の検査結果、治療経過、治療後の評価、診察記録、治療計画用 CT 画像、治療計画情報、標的および正常臓器の線量評価指標、治療時の CBCT 画像、位置合わせ情報、治療期間中の膀胱および直腸管理記録、ならびに再計画を行った場合の記録。

外部への試料・情報の提供

提供いたしません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	医療技術部放射線部門・小原秀樹 0172-39-5312/obara@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---